



悠久会 埼玉支部 会報

新潟大学 工学部 同窓会

(第14号)

発行：悠久会 埼玉支部

発行者：支部長 田島富二夫 (子 43)

編集者：副支部長 鯨井 和幸 (電 47)

発行日：平成24年5月3日

悠久会 埼玉支部 総会(第18回)のご案内

拝啓 新緑の候、支部会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年は大変な未曾有の大震災・東日本大震災が発生し、復旧・復興の中で『絆』『ふれあい』の大切さを改めて思い起こさせてくれました。今年には佐渡の自然界への放鳥トキに3羽のヒナが誕生しすくすくと育っているという明るいニュースがあります。その他でも10組のつがい抱卵をしているとのこと。この会報がお手元に届くころには新しいヒナ誕生のニュースがテレビ画面を賑わしているかと思われま



す。今年の新入生は入学と同時にトキのヒナの誕生に遭遇し、素晴らしい入学の年になったことと思います。震災に遭われて未だ避難所生活をしている方々や被災地の人達、更には新自由主義と言われる今日の世の中において若い世代の人達が勝組・負け組などと言われている時に、トキのヒナの誕生は自然界の成り立ちを通して人間社会の在り方に問題提起をしているようにも思われます。

そうした折、平成24年度の悠久会埼玉支部総会を、下記のとおり開催いたします。

当日は、母校・本部ならびに近隣支部から、ご来賓をお招きし楽しい総会となるように企画しています。ご多忙とは存じますが、皆様お誘い合わせの上、多数ご参加頂きますようご案内申し上げます。

尚、準備の都合上出欠は5月20日(日)迄に同封の葉書にてご連絡を頂きたくお願い致します。

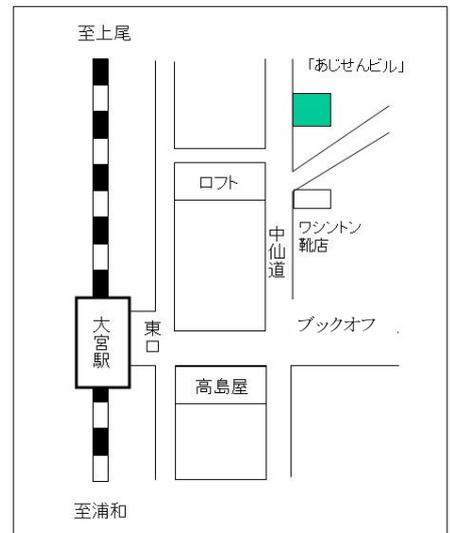
敬具

記

- 1、日時 平成24年6月2日(土) 11:00~16:00
- 2、会場 東晶大飯店
 - 住所 さいたま市大宮区宮町2-28 あじせんビル3F
 - 電話 048-644-0881
 - 交通 大宮駅(新幹線・高崎線・宇都宮線・埼京線等) 東口より徒歩5分

- 3、式次第
 - 第I部 総会 11:00~12:50
 - 母校・本部近況紹介 他
 - 講演会 (12:00~12:50)
 - 演題:「未定」
 - 講師:工学部教授 金子 双男氏(子 47)
 - 第II部 懇親会 13:00~16:00

- 4、会費 8,000円
(但し、新卒会員の方は無料、…ご招待とさせていただきます。)



尚、返信用葉書にはメールアドレスの欄がありますが、勤務先/ご自宅とも支部からのご案内を差上げても支障の無いアドレスをお書きください。(両方でもかまいません) 返信の宛先は、埼玉支部・副支部長(事務局長) 大友 眞(機 52)宛となります。

支部年会費 納入のお願い

埼玉支部の年会費は2,000円(振込み手数料を含む)です。支部総会案内や会報の作成・印刷他、連絡費用等の活動資金です。同封の郵便振替用紙をご利用ください。健全な支部活動を継続するためにも、支部会員の証としてぜひご納入頂きますようお願いいたします。

ごあいさつ

埼玉支部 支部長
田島 富二夫 (子 43)

悠久会埼玉支部の皆さま、さくらの季節も過ぎ、緑豊かな新緑の時期を迎えようとしている今日この頃、ご健勝にてご活躍のことと存じます。

4月23日、佐渡で自然界に放されたトキに3羽のヒナが誕生したとの報道がありました。放鳥して3年、幾多の障害を乗り越えてのヒナの誕生は大きな明るいニュースとして世界を駆け巡りました。この他にも10組のつがい抱卵をしているということも報道されています。この会報がお手元に届く頃には新しいヒナの誕生のニュースが報道されている事かと思えます。

昨今の世情は新自由主義の名のもとで過度の競争と若い世代の展望と希望を奪い、閉塞感の強い社会となっています。勝ち組・負け組といった言葉が横行し社会構造が180度ひっくり返った状況となっており、経済や政治の在り方が人間を企業の従属物にするという状況になっています。本来経済も政治も人間社会を豊かにするための補完的存在でした。そして現在の状況は大学を卒業しても就職出来ないという社会情勢となり、自殺者も毎年3万人を超えると言う異常な世の中になっています。

福島原子力発電所の事故は、いまだに原因究明がなされず、夏の電力供給問題も環境エネルギー政策研究所は政府の電力需給検証委員会に対して全ての原発が停止しても夏のピーク時に全国で16%以上の余裕を確保出来ると報告書を提出しています。

このような電力需給見通しが政府に報告されている反面、原発の再稼働なしでは電力不足になるという逆の報道や政府の発表が行われています。

今こそ科学者の役割が問われている時代はないでしょう。若い人達の将来に対する展望と明日の生活に不安を持たずに生活出来る社会を目指して、その良き昔を思い起こしつつ真実を追い求めて行くことが急務と言えるのではないのでしょうか。

東日本大震災の被災者の人達も勇気や元気を世界の人達から貰い、復旧・復興へ向けて頑張っています。先日、仙台、石巻、女川と現地の復旧状況視察に行ってきました。震災の傷跡はまだ残っており、処理されていない瓦礫も山積みとなっていました。それでも漁業関係者の人達は港で漁船を繰り出し、海では養殖を再開していました。昭和の時代に『黄色いハンカチ』という映画がありましたが、仙台市荒浜地区では、幸せな時代へ戻れるようにと復興に期待を込めて津波で流された跡地に『黄色いハンカチ』を掲げておりました。現状にめげないで復興・復旧に頑張ろうと気持ちを奮い立たせているようでした。

人間社会の在り方と、トキが自然界で成長して行く過程は深く関連し、自然界の一員としての人間社会という考えが求められていると言えるでしょう。

今年の工学部卒業祝賀会は3月23日にANAクラウンズホテル新潟において盛大に開催されました。工学部の卒業生は500数十名とのことでした。しかし70%が大学院へ進学をするとのことでした。悠久会本部に今年の卒業生で埼玉へ勤務する卒業生の動向を伺ったところ1人とのことでした。また院卒の動向についてはまだ不明であるとのことでした。

今年の全国総会は神奈川支部が幹事で7月7日(土)に新横浜で開催されます。群馬、長野、埼玉、静岡、神奈川と近隣の支部での開催が続いてきました。25年・新潟支部(90周年記念)、26年・日立鹿島支部、27年・京滋支部、28年・千葉支部と続きます。今年の卒業祝賀会時の全国理事会で29年に栃木支部が全国総会開催の名乗りをあげました。このように近隣支部の幹事での全国総会が続きます。今年の神奈川支部の全国総会に是非大勢の同窓生を誘い合わせて参加頂けますようお願い致します。

そのような状況の中で今年の悠久会埼玉支部総会を6月2日(土)に開催致します。

ひとり一人の力は小さなものかもしれませんが、皆で知恵を出し合い、明日への希望が持てる社会の実現を目指して共に力を合わせて素晴らしい同窓会を作り上げて行きたいと思えます。6月2日(土)の支部総会が有意義でかつ楽しい総会となることを期待し、大勢の方の参加のもとで総会を成功させたいと考えます。大勢の皆様方の参加をお待ちしております。

悠久会埼玉支部に参加して

元工学部教授(建設) 飯塚 裕

突然の初めての執筆依頼があり、思いつくままに雑事を記させていただきます。

発足の時から参加し、殆ど皆勤(2度だけ新宿区合唱祭と重なり欠席)で、毎回楽しく出席しております。これも初代支部長江森氏の陽気で世話好きのお陰で、昨年世界され多くの功績を残され、ご冥福をお祈り致します。実は私は両親の実家が熊谷在の南河原村で、母方は江森姓で、戦時中食糧難の時よく通った関係で、親しみを感じていました。熊谷といえば、在職中建築学科の教授の樋口・岩瀬氏の出身地で、他に川瀬氏と私も埼玉県人で4人の会で集まった事もある。

私は官・民・学と3度目に新潟大学の土木工学科に(のち建築学科に、更に建設学科に)昭和59年に奉職したが、阿部和久氏は大学院生で、その後助手から今では教授になられ、同窓会でも活躍しておられる。建設系は後発だが、建築はともかく、土木は同窓会が活発に活動している。

総会には学内の近況や時には学部長さんもお見えになり、大抵面識があり、また有志の講演もあり、シンガーソングライター安原道子さんのアトラクション等もあり、有意義で楽しい。それに近県の支部代表者も加え、30人位集まり盛会なのには感心する。田島現支部長の、同窓会は楽しくなければというのには全く賛成である。

一番思い出に残るのは、2001年7月、新世紀・新都心・埼玉総会で私の属する清新エコー合唱団(小林新指揮)の8人のダブル・カルテットで、学生歌等5曲を歌った事である。コーラスは大学生時代から始め、在職中新潟大学合唱団にも参加し合宿にもよく行った。現在も4合唱団に所属し、愛国会や寮歌の会もあり年10日位、4~5回の出演もあり、現役を任じている。他に同窓会・同好会の会合も50日位、コーラス等カレンダーを作り、それを着実にこなす事を仕事と思ひ、またこれが健康の秘訣であろう。

またウォーキング会も、出井氏等のお世話で年に4~5回と非常に盛んで、私も平成21年の所沢航空公園等に初参加した。22年11月には第34回、水郷と歴史の町・越谷を訪ね、震災後丁度1年ぶりで23年11月には第34回ふれあい・さいたまウォーキングの会で、男衾駅から荒川博物館を経て鉢形城址等を巡った。さらに本年3月にも秩父寺社巡り等をし、東京・群馬支部の方も参加された。好天にも恵まれ、趣のある自然と昔の街並み・人々のたたずまい等を味わいながら、10キロの道程は足腰の鍛錬にもよく、今や常連化している。

以上とりとめのない事を書きましたが、今回はこの辺で失礼致します。

故江森義雄氏(初代支部長)の思い出

田島富二夫(電子43)

悠久会埼玉支部初代支部長江森 義雄氏は平成23年9月5日午前11時頃も膜下出血により急逝されました。改めてご冥福をお祈り致します。

江森氏は東京支部から分離し発足した悠久会埼玉支部初代支部長として『楽しくなければ同窓会じゃない!楽しくやろうよ同窓会』を合言葉に支部結成の準備段階から骨身を惜しまず駆け回り役員を募り、何回もの準備会を開催し1995年10月27日の発足総会を成功に導いてくださった。

発足にあたっては現在ハワイで住職をしておられる西脇誠五郎氏(電気35)の指導を受けながら発足にこぎ着けることが出来たと大変感謝をしておられた。江森氏逝去の報に接し、西脇先輩と連絡を取りたいとの思いからネットで『西脇誠五郎』とパソコンに入力し、ハワイの連絡メールを探し求めました。7日の告別式の前日に連絡が取れ告別式の朝に西脇先輩からお悔やみのメールが届いた。そのメールを持参して告別式に伺い奥様に渡しました。大変有り難い事でありました。IT時代であればこそその素早い対応でありました。

支部発足後は江森支部長のもとで連絡担当を受け持ち、会議の連絡等を行いました。まだ電子メールも普及しておらず、いつもファックスで連絡をしていました。ひとり一人に自宅の電話機からファックスで連絡をするのには随分と時間が掛かりました。10数人に連絡をとるのに2時間近く掛かることもありました。当時のことを思い起こすと今は随分と通信が楽になったとしみじみと感じます。ハワイの西脇氏に一夜にして連絡が取れてお悔やみを頂戴する事が出来ましたことを本当によかったと思っております。

発足後支部の活動を開始したが支部総会開催が主な活動であった。総会時には『楽しくやろうよ』とのことから演歌歌手を呼んだりして会を盛り上げて来た。それも私の担当であった。その活動の中からシンガーソングライターの安原道子さんに遭うことになった。きっかけは『ライブコンサート100回を目指して』という埼玉新聞の記事

事を見つけてからであった。支部役員会に報告すると直ぐに連絡を取るようにと指示を受けて安原さんと連絡を取り総会に参加してもらい会を盛り上げてもらった。

また、当時江森氏は会社では現職で部長として活躍され、その合間に同窓会の活動を行っていた。支部が発足して間もなく江森氏は全国理事会で全国総会開催に立候補して来た。2001年7月20日(金)～21日、新世紀・新都心・さいたま総会である。

この総会の時、役員は全員奥様同伴で参加しようとなり4人の役員が同伴で参加した。懇親会の司会は私が担当であったが、私の独断で4人の夫人を壇上に上げて紹介をしようとした。ところが江森氏はまたアドリブで夫人の人達ひとり一人に挨拶をさせてしまった。参加者の人達は全て予定通りと考えたのか、私の妻に対して『随分と度胸があるな』と言われたと後に叱られた。

本当にあつという間の17年間であったが、余りにも若すぎる逝去である。亡くなる前日は奥様との旅行を計画しホテルの予約をして床についた。しかし翌日には帰らぬ人となった。通夜の日に顔を拝見させて貰ったが、安らかな顔であった。

願わくば花の下にて…

願わくば花の下にて春死なむその如月(きさらぎ)の望月(もちづき)の頃

たなか 踏基

鎌倉時代初期の歌人佐藤義清(サトウノリキヨ 後の西行法師)が晩年に詠んだ有名な句です。

「願いが叶うなれば貴女と桜の季節に逢瀬を重ね…貴女の好きな如月(陰暦二月)の望月(満月)頃に死にたい！」と詠み本当に陰暦2月16日(釈尊涅槃の日)西行は73歳で黄泉の客になったと言います。

平安末期～鎌倉時代を生きた俗名佐藤義清は「平清盛」NHK大河ドラマにも北面武士として登場するのでご存知かと思いますが、後の西行が桜歌人と言われる所以は代表句「願わくば…」に因ります。陸奥藤原家の傍流で武士・歌人の義清が23歳の若さで出家の理由に、俗世に詠んだ句に失恋歌が多い故にある高貴な女性との失恋説がある位です。西行は陸奥～四国～伊勢と旅に出ますが、後の俳聖芭蕉が西行を師と仰ぎ、弟子の曾良と共に奥州の行脚旅に出て「奥の細道」を編むのです。

さて、東京が花見客で賑わう季節の4月4日。文京区椿山荘アートギャラリーにて、書家の山内清香さんと江戸小紋師の藍田正雄名人の「さくら・桜・サクラ」コラボ展が開催(3/31～4/8)され仲間と連れ立ち観覧。国際的にも活躍中のお二人の経歴はGoogle検索で判るのでここでは割愛です。室町時代の三重塔を擁する椿山荘の二万坪の庭園は、山縣有朋の持ち物だった由で冠木門から何時でも一般に無料開放されます。隣地に関口芭蕉庵があり、清香さんは椿山荘で展示会を毎年実施の由ですが踏の観覧は今回で二度目でした。

各地窯元を訪ね唐津焼や萩焼の陶器に筆を重ねて彩る清香さんの作品が今回も展示されており、首記の「願わくば…」句を江戸小紋上で操り彩る清香さんの筆蹟は妖艶で踊ってさえ見えました。会場には毛利家や徳川家子孫の方提供の小紋の角帯の実物展示もあり、まさに江戸小紋と書のコラボの真骨頂を見る思いでした。元々江戸時代の侍着用の袴(かみしも)の模様から発し、諸大名は互いに贅を競ったという江戸小紋に門外漢だったこともあり、人間国宝藍田師の工房を後日「願わくば…」訪問したいと懇望し、清香さんとは拙著『陶匠の血脈』を執筆時に取材した金沢の伝統公房「九谷光仙窯」を紹介すると約束して会場を辞しました。

ご存知晩年の芭蕉は深川に庵(現芭蕉記念館)を結びます。文京区に何故庵があるのかですが、桃青(トウセイ)を名乗った若き芭蕉が、神田川の上水工事の現場監督として1677年から4年間居住した場所で、後世ここを関口芭蕉庵(関口は地名)と呼び俳聖と慕う人々がここに「龍隠庵」を建てた由来からです。俳諧師の芭蕉と現場監督というのは妙な取り合わせに思えますが、芭蕉の前身が伊賀国の土木・築城技術に秀でた藤堂藩の武士であったことを考えると納得できます。著名なコンクリート造りの深川芭蕉記念館より、余り知られず日本庭園を有して密かに佇む関口芭蕉庵に、「願わくば…」ファンがより訪れますようにと願う者です。

最後に私事で恐縮ですが、本年1月刊行『鶯の笛 中小坂鉄山秘聞』が、図書新聞に書評が掲載されて以来司書さんから好評の故なのか？作品舞台の下仁田、他小栗上野介ファンの居る富岡、前橋、上尾、松本、長野等では無論納得なのですが、全く無関係な意外な地域(北は旭川、青森、山形等、南は姫路、大阪、佐世保等)の図書館に入庫され更に広まる静かな機運を知りました。幕末の建議者が明治政府にとっての逆賊小栗上野介でなく勝海舟だったとしたら鉄山史跡は必ず残ったであろうと。未だ俗世離れができない物書きの切なる「願わくば…」は、日本初の洋式高炉製鉄所跡は教科書に掲載される釜石でなく上州甘楽郡中小坂の鉄山にあったと言う史実をぜひ読者に知って欲しいと願いつつ稿を終えます。了

「ふれあい・さいたまウォーキング」活動報告

埼玉支部 副支部長
出井道夫(機52)

埼玉支部の恒例行事「ふれあい・さいたまウォーキング」の活動を紹介致します。

平成23年度は、3.11東日本大震災とそれに伴う夏の電力不足対応(自動車産業の土・日就業)、また10月の計画は、悪天候で中止という不測の事態が重なって、結局、昨年11月と今年3月の2回だけとなりました。以下、その報告です。

第34回 天神山から川の博物館(寄居)を訪ねる旅

期日:平成23年11月26日

寄居町の里山から、川の博物館、鉢形城跡を訪ねる旅に12名が参加しました。

県立川の博物館では、全長170mにも及ぶ荒川の源流から河口までの模型に、皆感心しました。また、鉢形城址では歴史館の館長さんの説明が聞けました。鉢形城は荒川の河岸段丘を利用した天然の要害で、戦国時代は北条氏の関東支配の拠点となり、武蔵国の中心であったことを知りました。



第35回 横瀬の里を訪ねる(秩父札所巡り)旅

期日:平成24年3月3日

東京支部・群馬支部からも参加があり、早春の秩父路を14名で歩きました。

横瀬町は、秩父のシンボル武甲山の表玄関です。札所巡りコースのどこからでも、その雄大な姿が見られます。札所巡りは案内標識が整備されていますが、寺名ではなく全て番号で表示されています。今回は、秩父霊場34箇所のうち、5番から10番の6箇所を巡りました。最後に、羊山公園と武甲山資料館に立ち寄りました。羊山公園からは、秩父の街が一望できました。



埼玉支部では今後も季節毎に、「ふれあいウォーキング」を計画します。興味のある方・参加希望される方には、案内をEメールでお送りしますので、お気軽に下記アドレスにご連絡下さい。県外支部や他学部からの参加も大歓迎です。同窓生と気楽に歩いてみませんか。

連絡先:出井(機52):kwgid@pop.kcv-net.ne.jp

***** 支部・編集子からのお知らせ *****

※ 埼玉支部HP（悠久会HP）リニューアルのお知らせ

掲載情報の歯抜け状態が目立ってきたこと、掲載中の写真が古くなったことなどの理由で、悠久会ホームページの中の埼玉支部コーナーの情報を更新しました。

①支部会報を、第1号から全て載せました。

②”ふれあい・さいたまウォーキング”の報告を、第8回～第33回までをアーカイブ的に掲載し、若干の解説も加えました。

時間がありましたら、覗いてみてくださるようお願いいたします。

なお、さらなる更新を行いました。

URL : http://www.yukyukai.gr.jp/sibukatudou/08_saitama/index.html

※ 今年の全国総会は、神奈川です。

『出会・再会 横浜ベイサイド総会』

・・・7月7日(土)～8日(日) 新横浜国際ホテル

詳しくは、悠久会時報・第121号をご覧ください。

※ 来年以降の全国総会開催地は、以下の予定です。

- ・平成25年 新潟(90周年)
- ・平成26年 日立・鹿島(共同開催)
- ・平成27年 京滋
- ・平成28年 千葉
- ・平成29年 栃木

※ 御寄稿頂きました皆様にお礼を申し上げます。

※ 江森 義雄氏(初代支部長)のご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈り致します。

※ 昨年度(第17回)埼玉支部総会の写真です。



6月2日(土) AM11:00 「東晶大飯店」で、お待ちしております。